

おうちでできる **かみこうさく**
わくわくワークス

Shiga Museum of Art
滋賀県立美術館

3Dめいが
たてばんこ

【ウマ】

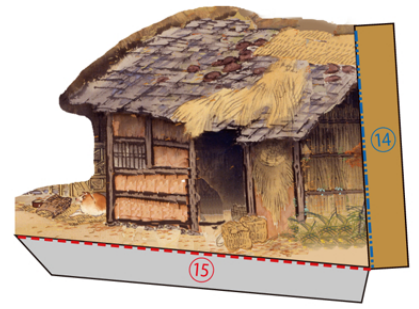
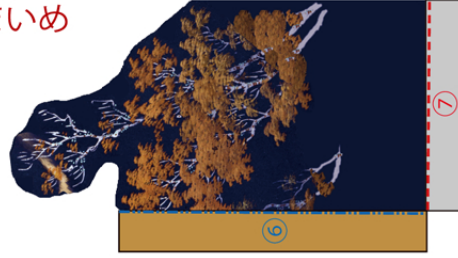


【女の人】

山元春挙 3まいぐみ
のうち3まいめ

【10 11 12 13 14】

【とゆ】



【かちくごや】

やまおり
たにおり

【10 11 12 13 14】



山元春挙（やまもと・しゅんきよ）。1872-1933は滋賀県大津市に生まれ、明治後半から昭和初期の京都画壇を竹内栖鳳とともにリードした日本画家です。京都画壇の伝統である写生を重視し、趣味の写真も生かしながら、スケールの大きな風景画を次々と描きました。「富士二題」は右幅「雨模様」と左幅「秋晴れ」の二幅からなり、富士山の雄大な姿を対比的に描いた晩年の名作です。「秋晴れ」は富士山を望む秋の夕暮れ、自然と共に生きる山里の人々の暮らしを暖かく描いた作品です。なお右側のイチョウの大木は、かつてJR大津駅前にあったイチョウの木を元にして構想したものです。

山元春挙（1872-1933）
「富士二題」より
左幅『秋晴れ』

1929（昭和4）年
絹本着色・軸装
縦187.2×横99.5cm
第10回帝展出品作
滋賀県立近代美術館蔵